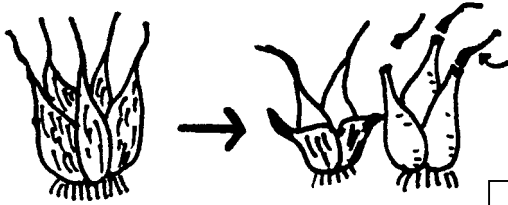


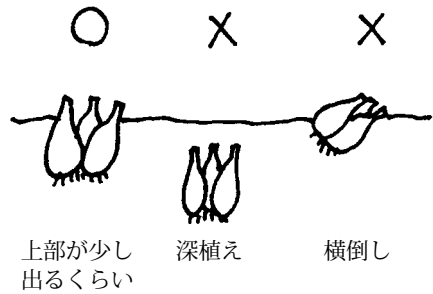
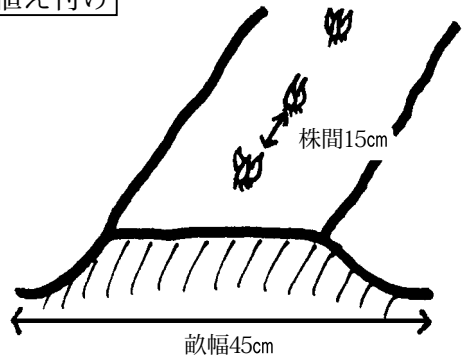
### 種球の準備



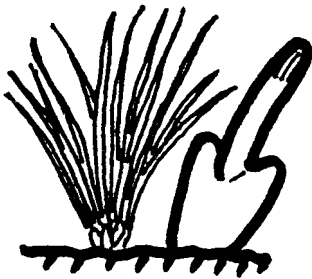
先端の枯れている部分を切り除いておきましょう。

種球は、外皮を丁寧にはぎとり、2～3球ずつ根部をつけて分球します。

### 植え付け



### 収穫



分けつして葉が十分伸びてきたら順次掘り上げて収穫していきます。

### 今月の作業

#### ★秋まき野菜の畑の準備

八月中下旬から九月にかけては、秋まき野菜の種まき、植え付け適期です。夏の休閑期を利用して、土に堆肥や腐葉土などの有機物、石灰などの土壌改良材を入れて、深く耕しておきましょう。

#### ★畑の利用計画

栽培の前に、選定した野菜を畑にどのように組み合わせ、前後作をどのように組み合わせるか利用計画をたてましょう。

特に組み合わせに当たっては連作障害のことを考え、同じ区画に同じ種類の野菜が連続して入らないよう輪作体系に考慮しましょう。

また、休閑期を設けて、土壌管理を入念にすることを忘れてはなりません。

# 楽しい家庭菜園



農業試験場三木分場  
伊藤 博紀

## アサツキを作ろう！

アサツキはネギの仲間、千本ワケギとも呼ばれるように、ワケギよりさらに細く、株分かれが多いのが特徴です。ネギの仲間では味、栄養とも最高といわれています。利用方法や栽培は、ワケギと似ていますので、一緒に作って食べ比べてみるのも楽しいかと思えます。

①栽培のポイント  
土質はあまり選びませんが、排水が悪いところでは種球が腐りやすくなります。ネギよりも根が弱く、肥あたりしやすいので注意するとともに、水はけのよい土づくりを心がけて下さい。

②家庭菜園に適した品種  
品種の分化はなく、早生種と晩生種があるだけで、どちらも菜園に適しています。普通は三～四月どりですが、一月上中旬頃に簡単なトンネルがけをすると二月上旬から収穫できます。

③畑の準備  
排水のよい畑を選び、植え付け三週間前に、 $1\text{m}^2$ 当たり苦土石灰 $1\cdot 5\text{kg}$ をまいて、荒起こしをします。二週間前には、堆肥 $1\text{m}^2$ 当たり $1\text{kg}$ 、緩効性の化成肥料 $100\text{g}$ を施し、畝を作ります。

④種球の準備と植え付け  
種球は $1\text{m}^2$ 当たり $100\text{g}$ 程度必要です。市販のものを使うのが無難ですが、自給自足も可能です。ただし、暖地では何年も自給自足することは難しいようです。入手した種球は、外皮を丁寧にはぎとって二～三球ずつ、根部をつけて分球し、球の先端の枯れている部分はハサミで切り捨てます。小さな球や腐った球は除外します。植え付けは、上部が少し地上に出るようまっすぐに差し込みます。

⑤手入れ  
追肥は一月下旬頃、化成肥料 $1\text{m}^2$ 当たり $60\text{g}$ を施し、株元へ軽く土寄せを行います。

⑥収穫  
草丈 $20\sim 25\text{cm}$ くらいの生育のよいものから掘り上げます。球根の部分も一緒に利用できます。次作の種球を得るには追肥を少量施し、五月に葉が黄変してから掘りあげ、ばらさずに軒下などにつるしておきます。

### 栽培時期

作型 \ 時期	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
普通栽培		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

△ 植え付け      ■ 収穫